

令和5年6月2日改訂

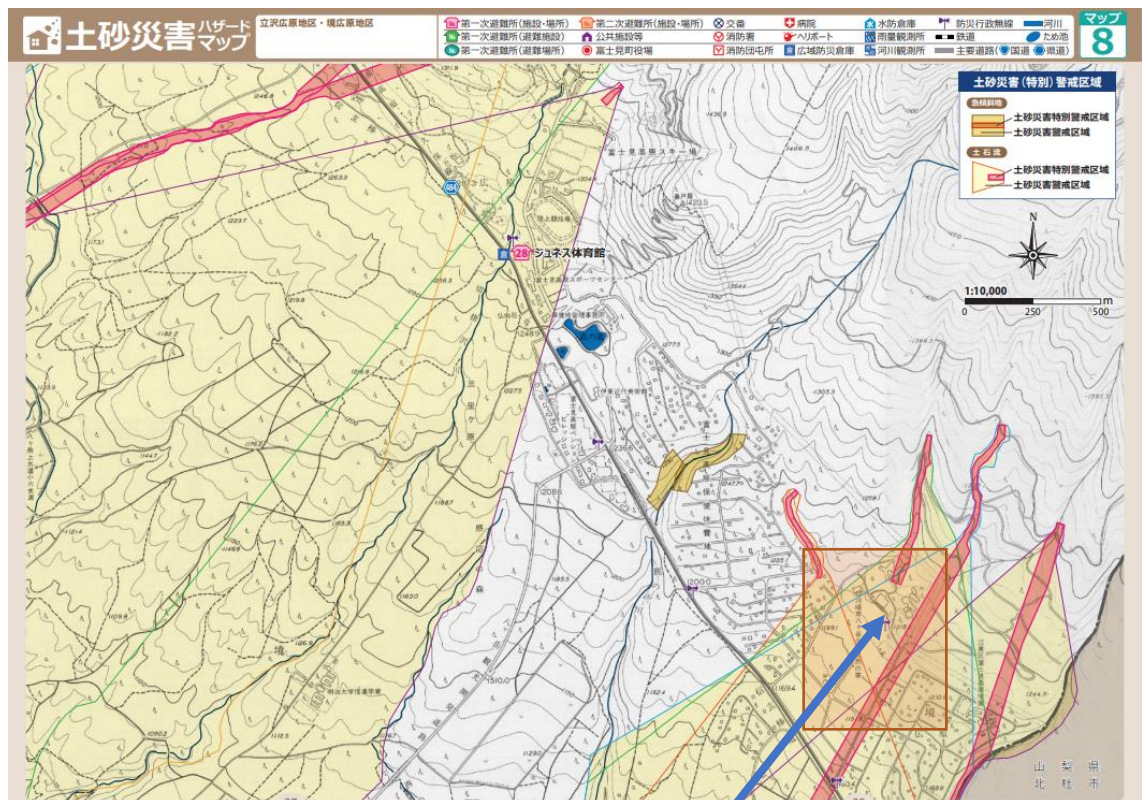
一般社団法人 富士見パノラマリゾート

土砂災害の恐れがある場合の休所基準や避難について

(土砂災害特別警戒区域等における避難計画から抜粋)

1) 施設が有する災害リスク

土砂災害特別警戒区域/土砂災害警戒区域図



川崎市八ヶ岳少年自然の家

2) 当事業所における体制別警戒レベル表 (3段階)

	判断基準	業務内容
1. 注意体制	土石要因接近が予測される場合	情報収集
2. 警戒態勢	警報発令	情報収集
		避難準備
3. 非常事態体制	所内緊急事態宣言 土砂災害警報発令	関連施設連絡
		情報収集・連絡
		避難誘導
		救護

3) 事前休業処置基準と伝達告知方法

・事前休業判断基準

次に掲げるいずれかに該当する場合、現状把握に努め、利用者の安全・安心や施設運営が困難と判断する場合は、「自然災害等に伴う休所に関する基本的な考え方」に基づき、青少年支援室に対し報告し、協議を行うこととする。

- 概ね1週間以上継続的に降雨が続く場合
- 台風等の影響による大雨警報の発令
- 高齢者等避難の発令
- 土砂災害警戒情報の発表が予測される場合
- 長野県諏訪地域に特別警報又は暴風警報の発表の可能性が予測される場合

・休業決定時の利用予定者に対する伝達事項

事前休業処置が行われた場合は、利用者予定に対する周知のため、ホームページにて告知及び利用申請書を元に利用予定者へ電話またはメールにて連絡をする。

4) 事前休業判断時の滞在者への対応

- ・既に入所している利用者に対しては速やかに退所の指示をする。

5) 第一次避難先の選定基準

- ・富士見町防災ガイドブックによる「土砂災害ハザードマップ」で指定する広原地区の第一次避難場所のジュネス体育館を第一次避難場所とする。

6) 所内・屋内安全確保の基準

- ・所内の移動については土砂災害の危険が予想されるエリアを避け移動を行う。
- ・避難誘導においては各部屋、浴室等に利用者がないかを速やかに確認する。
- ・避難後は利用者の安否状況の確認を行う。

7) 土砂災害事前事中情報入手先

- 天気予報 : 気象庁 | 気象警報・注意報 (jma.go.jp)
インターネット、テレビ
- 雨量情報 : 富士見町の雨量状況 - 富士見町ホームページ (fujimi.lg.jp)
- 土砂災害警戒情報 : 富士見町の雨量状況 - 富士見町ホームページ (fujimi.lg.jp)
告知放送、町防災無線、
- 第一次避難情報 : 富士見町の雨量状況 - 富士見町ホームページ (fujimi.lg.jp)
告知放送、町防災無線、LCV

8) 回避行動準備

富士見町防災ガイドブック「防災気象情報」の情報発信を確実に入手確認し、警報レベルに達する前に回避行動準備を開始する。

○情報入手確認方法

- ・「防災気象情報」とは気象庁が発信する「大雨による注意・警報・特別警報」「土砂災害警戒情報」「記録的短時間大雨情報」などとし、確実に入手する。
 - ・防災行政無線による情報を聴き取る。
 - ・周辺地域の様子を調査する。
 - ・前日の気象庁発信の天気図、気象予想図を入手し印刷または情報共有する。
- 以下富士見町防災ガイドブック（土砂災害ハザードマップ）に準じて予見する。

土砂災害(水害)

水害・土砂災害時に落ち着いて行動できるよう、ポイントを押えておこう！
日ごろから気象情報に気をつけておこう！

土砂災害ハザードマップ

マップの区切りは11ページに掲載！

土砂災害ハザードマップとは、長野県が土砂災害(特別)警戒区域に指定した急傾斜地、土石流を示したものです。(平成27年3月30日)
土砂災害(特別)警戒区域とは、土砂災害防止法に基づいて、被害を受けるおそれのある区域を長野県が指定し、公表したものです。なお、富士見町には地すべりによる指定はありません。

2種類あります!

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって、斜面が突然崩れ落ちる現象です。

警戒区域
特別警戒区域

前兆現象

- がけにひび割れができる
- がけから水が湧き出ている
- 小石がはらはらと落ちてくる

土石流

山腹、川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって水と一体となり、下流へ一気に流れ出す現象です。

警戒区域
特別警戒区域

前兆現象

- 山腹りする
- 川の水が濁り流木が流せる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

防災気象情報の種類(大雨による土砂災害の場合)

大雨の状況	注意報・警報	とるべき行動
大雨の可能性が高くなる		○気象情報・空の変化に注意しましょう。
大雨が降り始める	大雨注意報	○最新の情報に注意し、災害に備えた早めの準備をしましょう。
強さが増す	大雨警報	○雨・土砂災害の影響を受けやすい地区の住民や要配慮者は、早めの行動を心がけましょう。
大雨が一層激しくなる	土砂災害警戒情報	○町が発する避難に関する情報に留意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。
広い範囲で数十年に一度の大雨	大雨特別警報	○直ちに町が発する避難情報に従って命を守る行動をとりましょう。
	記録的短時間大雨情報	○避難所へ避難するが、外出することが危険な場合は、家の中でも2階などの安全な場所に避難しましょう。

雨の降り方と強さ

10分間の雨量	15分間の雨量	15分間の雨量	15分間の雨量	15分間の雨量
10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm~
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	無風や下風、小さな川が流れ、小規模の崩れが起る。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険な場所では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴き出す。土石流が起きる。	雨による大規模な災害の発生のおそれが高くなる。避難の準備が必要。
ゲージと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	窓ガラスにゴロゴロと降り続ける	屋根が壊れるような状況や浸水を感じる

水害・土砂災害時の行動ポイント

土石流から逃げる!
土石流の流れる方向に対して直角に、少しでも高いところに逃げましょう。

避難時もがけ地に注意!
がけ地はどこでも崩れるおそれがあるため、がけ地付近を進行、滞在は避けましょう。

危険と判断したら早めに自主避難!
「避難準備・高齢者等避難開始」が出されていない場合でも、危険や不安を感じたときは、自主的に避難しましょう。

逃げ遅れたら、生命を守る行動を!
堅牢な建物の高い階(斜面の反対側)などに、急いで避難しましょう。

足元のマンホールや倒溝に注意!
濁った水で足元が見えないので、棒や杖などで確認しながら避難しましょう。

履きなれた底の固い運動靴で避難!

3

9) 土砂災害事前情報予見による低減行動

- ・土砂特別警戒区域内施設 A（鳥の棟 山の棟、ワーキングホール）での利用者に対し、予め避難ルート避難場所、避難手順について説明を行う。
- ・土砂災害警戒区域内施設 B（花の棟、星の棟、村の棟、センターハウス等）での利用者に対し、予め避難ルート避難場所、避難手順について説明を行う。
- ・所長は緊急事態宣言を職員全員に発令し、このマニュアルに沿って対処する。

(重要) 町からの情報前に土砂災害の発生の危険が高まり前兆となる現象を確認した場合、所長の指示により安全な場所へ避難（回避）行動を開始する。

10) 緊急事態宣言発令による回避行動・避難経路・避難方法

- ・ A 対象者は緊急避難場所優先順位を 山の棟利用者は ①花の棟玄関 鳥の棟利用者は ①鳥の棟玄関から、速やかに②センターハウス内食堂「甲斐駒」への移動後、最善の移動手段によって第一次避難所ジュネス体育館に避難誘導をする。第一次避難場所への移動が困難な場合は境地区第一次避難所の境小学校に避難誘導する。

移動手段については高齢者、幼児（保護者）、障害者（介助者）は避難道路の安全が確認できしだい優先的に車両を使い移動を行う。

- ・ B 対象者は緊急避難場所優先順位を 花の棟利用者は ①花の棟玄関 ②センターハウス内食堂「甲斐駒」への移動、村の棟利用者は ①村の棟ロビー 星の棟利用者は ①星の棟ロビーへ移動後、最善の移動手段によって第一次避難所ジュネス体育館に避難誘導をする。第一次避難場所への移動が困難な場合は境地区の第一次避難所の境小学校に避難誘導する。

移動手段については高齢者、幼児（保護者）、障害者（介助者）は避難道路の安全が確認できしだい優先的に車両を使い移動を行う。

- ・現場責任者は、土石流の予兆が確認された場合、その土石、流水の方向と量から土石流出方向を見定め、垂直移動か谷下手への移動かを指揮する。土砂災害警戒区域の方向はワーキングホールからセンターハウスに向けての直線であるため、ワーキングホール北側からの土石発生の場合はセンターハウス移動が難しい場合は、危険区域外の第二駐車場・アストロハウスを活用する。ただし、第二駐車場から下部への道路が使用できない事態では定めるところではない。

11) 避難に必要な表示

- ・現在地や避難ルートの確認が行えるよう各宿泊棟に屋内外の土砂災害時における第一次避難場所のマップ掲示を行う。

川崎市八ヶ岳少年自然の家 敷地図 避難経路図

